

6月の中小企業月次景況調査

〔令和7年6月末現在〕



全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

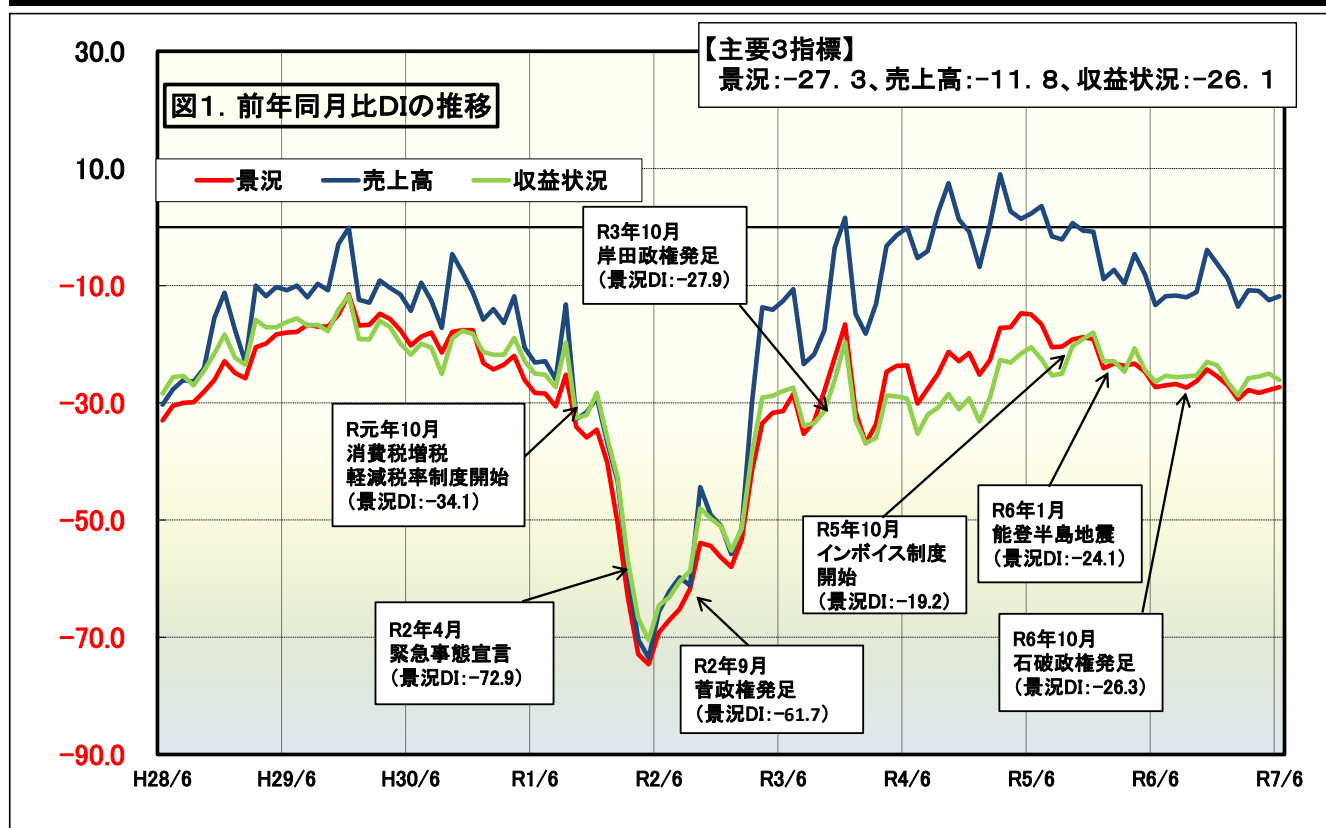
令和7年7月25日発表

◎6月の景況DIは製造業は上昇、非製造業は小幅低下。

○製造業では、先行きに対する不透明感はあるものの、価格転嫁が徐々に行っていることを背景に、景況感はいくつかの業種で前月比上昇となった。

○非製造業では、引き続きインバウンド需要に支えられているものの、物価上昇による消費低迷に対する不安により、小幅ながら低下となった。

○今後の米国関税政策の影響を懸念する声が、引き続き業種を問わず、数多く寄せられている。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,500名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)
全国中小企業団体中央会
担当: 政策推進部
TEL 03-3523-4902
<https://www.chuokai.or.jp>

6月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

1. 6月のD Iは、先行きへの不安はあるものの、現段階では米国関税措置の影響が大きくは現れていないことから、景況感は概ね横ばいとなった。主要3指標では、景況感が0.5ポイント上昇、売上高が0.7ポイント上昇、収益状況は1.1ポイント低下となった。
2. 主要3指標以外についても概ね横ばいとなった。
3. 引き続き原材料、燃料、人件費等のコスト上昇に価格転嫁が追いついていない状況にはあり、先行きを不安視する声は多数寄せられている。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

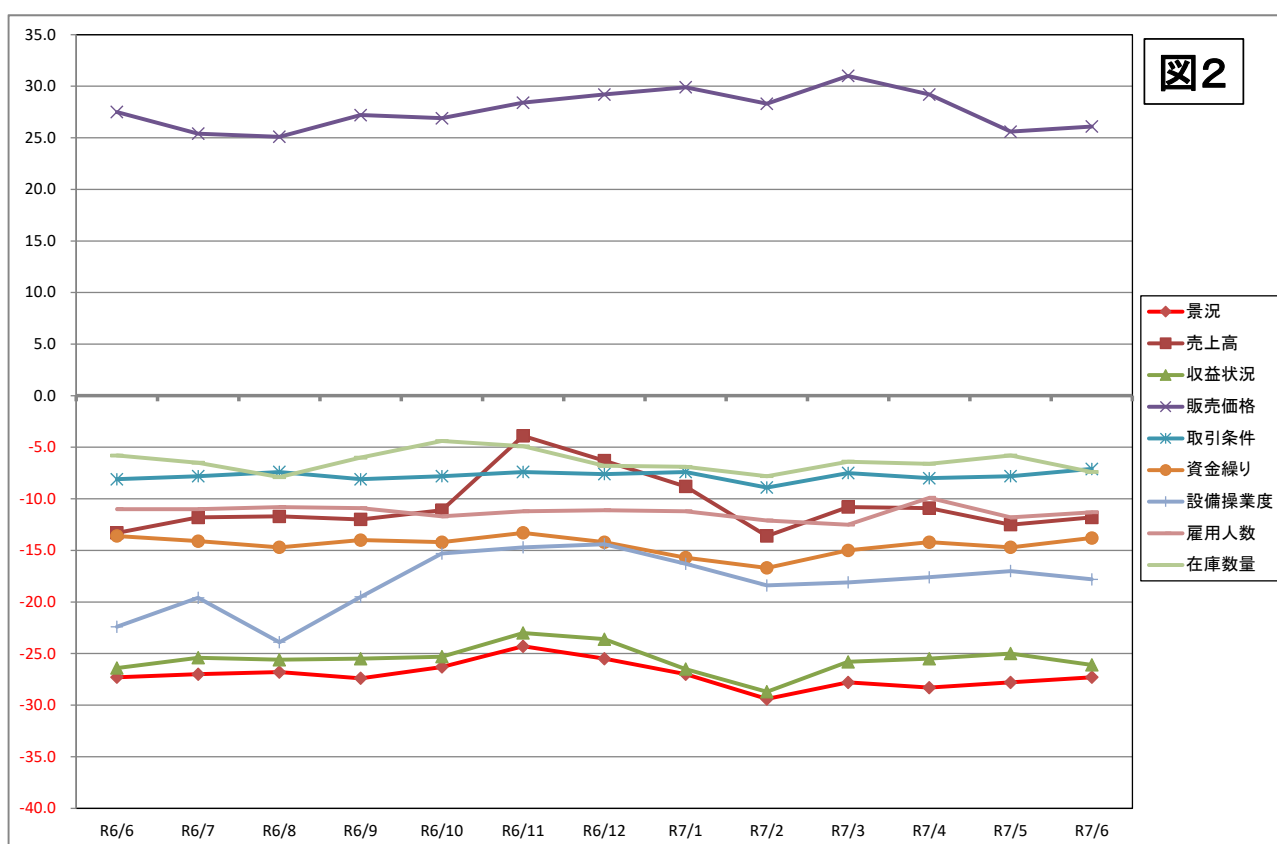


表1	R6 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7 1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
景況	-27.3	-27.0	-26.8	-27.4	-26.3	-24.3	-25.5	-27.0	-29.4	-27.8	-28.3	-27.8	-27.3	0.5
売上高	-13.3	-11.8	-11.7	-12.0	-11.1	-3.9	-6.3	-8.8	-13.6	-10.8	-10.9	-12.5	-11.8	0.7
収益状況	-26.4	-25.4	-25.6	-25.5	-25.3	-23.0	-23.6	-26.5	-28.7	-25.8	-25.5	-25.0	-26.1	-1.1
販売価格	27.5	25.4	25.1	27.2	26.9	28.4	29.2	29.9	28.3	31.0	29.2	25.6	26.1	0.5
取引条件	-8.1	-7.8	-7.4	-8.1	-7.8	-7.4	-7.6	-7.4	-8.9	-7.5	-8.0	-7.8	-7.1	0.7
資金繰り	-13.6	-14.1	-14.7	-14.0	-14.2	-13.3	-14.2	-15.7	-16.7	-15.0	-14.2	-14.7	-13.8	0.9
設備操業度	-22.4	-19.6	-23.9	-19.5	-15.3	-14.7	-14.4	-16.3	-18.4	-18.1	-17.6	-17.0	-17.8	-0.8
雇用人員	-11.0	-11.0	-10.8	-10.9	-11.7	-11.2	-11.1	-11.2	-12.1	-12.5	-9.9	-11.8	-11.3	0.5
在庫数量	-5.8	-6.5	-7.9	-6.0	-4.4	-4.9	-6.8	-6.9	-7.8	-6.4	-6.6	-5.8	-7.4	-1.6

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 米国関税政策の影響を不安視する声、現時点における影響に関する声が、業種を問わず、多数寄せられている。
2. 原材料価格、人件費等各種コストの上昇への対応に苦慮している声についても多数寄せられた。
3. 熱中症対策義務化への対応、猛暑による影響に関する声も多数寄せられており、異常気象がもたらす経済への影響が懸念される。

《主な報告内容》

◇米国関税政策に関する事業者の声

- ・自動車関連は下降気味。これから米国関税の影響が出るものと予測される。半導体製造設備関連について、落ち込みは無いものの先行きは不透明。(岩手/鉄鋼・金属)
- ・昨年に比べ景況は安定しているように見えるが油断は出来ない。特に米国関税措置について中小企業としても先行きが見通せず、各社とも取引先との調整に苦慮している。(埼玉/一般機械機器)
- ・米国関税の影響で納入先の設備投資が延期されるなどの影響が出ている。一方、脱炭素とエネルギーコスト削減を図る設備投資を行う組合員もあり、収益体質強化に向けた取り組みも散見される。(千葉/鉄鋼・金属)
- ・全体として売上は増加しているが、収益は横ばいである。価格転嫁は進んでいるが受注が非常に減っている。特に米国関税の影響か自動車関連で発注先が手控えている様子である。(新潟/鉄鋼・金属)
- ・主要客先に米国関税の様子見から発注調整をしている先があるため、売上に影響が出ている。(新潟/一般機器)
- ・米国関税の動向を注視してか製造業の投資が弱い。延期・中止がまだ散見される。(静岡/建設)
- ・引き続き、米国関税に対する交渉の動向を注視している状況であるが、自動車関連では中国で生産している製品の移管案件が増加しているようである。(石川/鉄鋼・金属)
- ・米国相互関税の発動により、産業機械部門はコスト増加、また建設機械・車両部門は景気悪化で需要が減少し、業界全体の営業利益が圧迫されると予想している。石川県の輸出品目では、建設機械が最多であるため、業界は建設機械大手メーカーの動向を見守っている。(石川/一般機器)
- ・自動車や建機向け部品、及び部品メーカーへの納入は、各社の生産数量内示に大きな変化はなく予定通りの進捗である。しかし、米国関税の行方次第で不透明が増す。(大阪/一般機器)
- ・米国関税の影響に関しては、米国向けの比重が全体的にはあまり大きくないが、次第に影響が出始めており、対ドルに関し円高傾向も悪材料となっている。(岡山/繊維)

◇原材料価格、エネルギー価格高騰、人件費上昇に対する価格転嫁への対応等

- ・仕入れ、光熱費高騰、特にお米を扱うお店では仕入価格が2倍になっているような非常に苦しい状況。価格転嫁したものの追いつかない。(愛知/サービス)
- ・価格転嫁は進んでいるが、資機材の値上がりと同様までは難しい。最低賃金対応も進んでいるが、経営への負担は免れられないとの声もある。(京都/印刷)
- ・物価上昇に伴い、価格への転嫁が進み、販売価格は上昇してきている。(山形/一般機器)
- ・価格転嫁は行っているものの、原材料や人件費の高騰分をカバー出来ていない。(福井/サービス)

◇熱中症対策義務化への対応、異常気象への対策に苦慮する事業者の声

- ・6月からの「熱中症対策の義務化」により、当面は生産性の低下が懸念されるが、社員の健康管理の観点から、必要不可欠である。(広島/鉄鋼・金属)
- ・熱中症対応が義務化されたが、どこまで費用と時間をかけるかが悩ましい。空調服だけでなく深部体温を計測する熱中対策ウォッチの装着を義務化する現場も出てきた。熱中症対策商品については、欠品や2か月以上待ちの商品が散見。改めてLED交換の問い合わせが増加。(愛知/卸売)
- ・少しでも職場環境を良くするために空調設備を設置した組合員や、従業員の健康を考え、屋根に断熱塗料を塗り、少しでも働きやすい環境作りをした組合員もあった。(岐阜/鉄鋼・金属)

※ 後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告(要旨)」等も参照。

1. 景 況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 27.8	▲ 27.3	0.5	上昇	↗
製造業	▲ 35.7	▲ 33.9	1.8	上昇	↗
非製造業	▲ 22.0	▲ 22.3	▲ 0.3	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	紙・紙加工品			
	5～10ポイント	食料品、繊維工業、鉄鋼・金属、その他の製造業、建設業、その他の非製造業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	木材・木製品、窯業・土石製品、サービス業			

表2. 業種別【景 況】D I の推移（前年同月比）

業 種 名	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	前月比
全 体	-27.3	-27.0	-26.8	-27.4	-26.3	-24.3	-25.5	-27.0	-29.4	-27.8	-28.3	-27.8	-27.3	0.5
製 造 業	-35.2	-35.7	-37.6	-35.9	-33.7	-32.3	-31.5	-33.2	-35.0	-35.3	-36.1	-35.7	-33.9	1.8
食 料 品	-21.6	-27.2	-22.3	-27.5	-25.9	-25.0	-18.6	-27.8	-30.2	-25.6	-26.5	-33.4	-27.8	5.6
繊 維 工 業	-41.8	-43.2	-45.9	-49.0	-45.5	-43.5	-39.6	-40.0	-40.9	-43.6	-44.1	-43.2	-38.2	5.0
木 材 ・ 木 製 品	-49.5	-45.6	-54.9	-48.7	-46.8	-46.0	-39.2	-37.8	-46.1	-45.6	-34.8	-39.6	-47.3	-7.7
紙 ・ 紙 加 工 品	-48.0	-28.0	-44.0	-54.1	-50.0	-40.0	-13.1	-28.0	-37.5	-36.4	-29.2	-30.4	-16.7	13.7
印 刷	-36.2	-47.3	-53.5	-47.4	-41.0	-47.3	-39.0	-50.0	-42.4	-50.8	-48.3	-45.8	-45.8	0.0
化 学 ・ ゴ ム	-34.6	-25.0	-28.6	-21.5	-28.5	-14.3	-21.5	-18.5	-22.2	-25.9	-29.6	-25.9	-22.2	3.7
窯 業 ・ 土 石 製 品	-41.3	-41.9	-39.1	-35.8	-39.8	-35.3	-36.9	-34.8	-42.5	-37.6	-41.7	-35.5	-43.4	-7.9
鉄 鋼 ・ 金 属	-39.8	-40.9	-44.2	-38.2	-30.1	-27.5	-41.6	-34.1	-36.1	-37.4	-45.0	-38.1	-29.4	8.7
一 般 機 器	-37.8	-35.3	-38.5	-33.3	-31.1	-30.1	-31.7	-30.4	-28.9	-32.4	-38.1	-34.2	-31.8	2.4
電 気 機 器	-17.9	-10.7	-17.8	-3.7	-3.7	-19.2	-21.4	-25.0	-14.3	-7.4	-17.8	-14.3	-10.7	3.6
輸 送 機 器	-8.9	-15.5	-15.9	-16.3	-13.6	-9.3	-16.3	-20.4	-16.7	-17.0	-15.9	-18.2	-22.7	-4.5
そ の 他 の 製 造 業	-34.0	-28.6	-29.7	-30.6	-28.6	-30.7	-28.6	-35.4	-29.1	-41.7	-38.0	-38.0	-31.4	6.6
非 製 造 業	-21.3	-20.3	-18.6	-20.9	-20.5	-18.3	-20.9	-22.3	-25.3	-22.1	-22.4	-22.0	-22.3	-0.3
卸 売 業	-22.3	-22.8	-22.8	-22.2	-25.4	-18.4	-18.4	-22.1	-20.7	-24.2	-32.0	-28.2	-27.5	0.7
小 売 業	-32.2	-28.9	-25.2	-29.3	-32.0	-30.3	-32.9	-36.7	-36.1	-36.2	-30.3	-32.9	-31.1	1.8
商 店 街	-21.9	-23.3	-24.7	-28.4	-23.0	-27.1	-24.7	-27.0	-33.1	-29.9	-28.6	-30.0	-33.1	-3.1
サ ー ビ ス 業	-4.0	-6.0	-2.9	-5.8	-5.4	-1.1	-8.0	-4.7	-13.8	0.8	-2.2	-0.3	-9.6	-9.3
建 設 業	-24.3	-20.4	-19.7	-20.1	-21.1	-20.6	-22.2	-20.9	-24.1	-22.6	-20.7	-22.4	-16.3	6.1
運 輸 業	-27.7	-25.0	-23.4	-27.9	-18.8	-19.7	-18.7	-27.6	-29.9	-28.8	-29.6	-25.2	-22.2	3.0
そ の 他 の 非 製 造 業	-6.7	-9.7	-6.4	3.3	0.0	16.2	-9.6	0.0	3.2	3.2	-6.4	-6.4	0.0	6.4

Pick up!

「鉄鋼・金属」：景況D Iは前月比8.7ポイント、売上高D Iは前月比9.0ポイント、収益状況D Iは前月比1.9ポイントと、2カ月連続主要3指標ともに上昇となった。一方で米国関税影響への不安感、コスト増加に対する負担感に対する声は多く寄せられている。

「サービス業」：物価上昇に伴う消費低迷、猛暑による客足の減少への不安とともに、人手不足が深刻化しており、景況D Iは▲9.6と、前月比9.3ポイント低下した。

2. 売 上 高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 12.5	▲ 11.8	0.7	上昇	↗
製造業	▲ 15.5	▲ 17.0	▲ 1.5	悪化	↘
非製造業	▲ 10.1	▲ 8.0	2.1	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	化学・ゴム、電気機器、運輸業			
	5～10ポイント	紙・紙加工品、印刷、鉄鋼・金属、その他の製造業、建設業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	木材・木製品、窯業・土石製品、その他の非製造業			
	5～10ポイント	繊維工業、サービス業			

表3. 業種別【売上高】D I の推移（前年同月比）

業 種 名	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	前月比
全 体	-13.3	-11.8	-11.7	-12.0	-11.1	-3.9	-6.3	-8.8	-13.6	-10.8	-10.9	-12.5	-11.8	0.7
製 造 業	-23.6	-19.2	-24.2	-21.8	-16.0	-12.7	-15.0	-16.2	-20.1	-18.2	-13.5	-15.5	-17.0	-1.5
食 料 品	-3.6	-3.7	-4.6	-12.5	-9.8	5.5	3.1	-8.1	-12.6	-10.0	-2.5	-6.1	-8.6	-2.5
織 維 工 業	-22.7	-26.6	-26.1	-26.8	-24.6	-19.5	-18.0	-22.7	-20.0	-17.2	-19.8	-19.8	-26.4	-6.6
木 材 ・ 木 製 品	-39.7	-21.9	-41.6	-31.8	-21.1	-31.0	-25.0	-21.0	-32.2	-33.4	-11.6	-8.1	-25.0	-16.9
紙 ・ 紙 加 工 品	-8.0	-8.0	-16.0	-20.9	-16.7	4.0	4.3	12.0	-33.3	13.7	8.4	-4.4	4.2	8.6
印 刷	-27.6	-29.8	-32.8	-32.2	-21.4	-26.3	-18.7	-36.2	-13.5	-35.1	-29.4	-28.8	-23.7	5.1
化 学 ・ ゴ ム	-11.5	-25.0	-21.4	-25.0	-17.8	-14.3	-21.4	-11.1	-14.8	-7.4	-7.4	-18.5	3.7	22.2
窯 業 ・ 土 石 製 品	-32.7	-24.5	-35.3	-30.7	-24.1	-19.1	-18.8	-14.5	-31.4	-32.4	-20.5	-20.0	-35.3	-15.3
鉄 鋼 ・ 金 属	-29.4	-28.1	-35.1	-25.2	-9.0	-10.7	-19.7	-19.0	-18.7	-17.9	-20.6	-18.3	-9.3	9.0
一 般 機 器	-30.0	-18.6	-22.1	-18.6	-17.5	-12.7	-20.2	-26.4	-23.1	-15.1	-16.2	-24.8	-24.1	0.7
電 気 機 器	-39.3	-10.7	-17.9	18.5	14.8	-11.6	-21.5	-7.1	3.5	14.8	14.2	-3.6	21.4	25.0
輸 送 機 器	-2.2	-6.7	-13.6	-13.9	-6.8	4.6	-23.2	-2.2	2.4	-14.6	-11.3	-6.8	-2.3	4.5
そ の 他 の 製 造 業	-38.0	-30.6	-21.2	-24.5	-22.4	-28.5	-28.6	-25.0	-35.4	-18.8	-26.0	-28.0	-21.6	6.4
非 製 造 業	-5.4	-6.1	-2.3	-4.6	-7.4	2.7	0.2	-3.2	-8.8	-5.3	-9.0	-10.1	-8.0	2.1
卸 売 業	-11.4	-4.1	6.0	-10.9	-10.9	3.4	6.9	6.6	2.0	-1.5	-19.2	-12.9	-9.3	3.6
小 売 業	-10.4	-17.8	-6.9	-12.4	-26.5	-0.9	-5.7	-5.7	-17.0	-16.8	-11.8	-24.3	-20.1	4.2
商 店 街	-5.0	-14.9	-12.7	-8.1	-7.7	-5.6	-3.7	-10.4	-24.0	-18.5	-15.3	-14.4	-12.9	1.5
サ ー ビ ス 業	5.4	8.9	6.5	13.9	11.7	16.4	9.5	9.1	0.0	14.2	12.2	18.4	11.9	-6.5
建 設 業	-10.9	-5.7	-6.4	-6.0	-12.0	-8.6	-13.6	-19.5	-12.0	-14.4	-14.6	-19.8	-13.3	6.5
運 輸 業	-2.3	-3.1	-7.0	-9.3	5.4	7.9	11.7	-2.4	-6.3	-0.8	-16.8	-17.3	-6.1	11.2
そ の 他 の 非 製 造 業	13.3	-3.3	16.2	0.0	19.4	19.4	12.9	12.5	19.4	32.2	6.4	19.4	6.7	-12.7

Pick up!

「電気機器」：熱中症対策、猛暑対策によるエアコン需要の高まりにより、景況D I ▲10.7と前月比3.6ポイント上昇した。また、売上高D I については21.4と前月比25.0ポイント、収益状況D I については▲3.6と前月比14.2ポイント上昇した。

「木材・木製品」：資材高騰による影響に加え、人手不足による工事長期化、改正建築基準法の施行による影響もあり売上高D I は▲25.0、前月比16.9ポイント低下となり2カ月ぶりの低下となった。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 25.0	▲ 26.1	▲ 1.1	悪化	↘
製造業	▲ 29.9	▲ 30.2	▲ 0.3	悪化	↘
非製造業	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 1.5	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	紙・紙加工品、電気機器			
	5～10ポイント	一般機器、その他の非製造業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	印刷、窯業・土石製品、卸売業、サービス業			

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	前月比
全 体	-26.4	-25.4	-25.8	-25.5	-25.3	-23.0	-23.6	-26.5	-28.7	-25.8	-25.5	-25.0	-26.1	-1.1
製 造 業	-31.5	-32.0	-32.2	-32.1	-29.6	-28.5	-26.9	-29.8	-31.8	-31.1	-31.1	-29.9	-30.2	-0.3
食 料 品	-19.1	-24.1	-19.3	-30.0	-29.1	-24.0	-20.7	-29.8	-38.7	-29.8	-31.5	-30.3	-32.3	-2.0
織 維 工 業	-32.7	-38.5	-44.2	-41.7	-37.2	-41.7	-35.1	-32.8	-37.2	-36.4	-35.1	-32.4	-33.7	-1.3
木 材 ・ 木 製 品	-43.2	-42.1	-46.0	-36.3	-36.7	-31.0	-32.2	-35.0	-40.0	-43.0	-25.9	-30.6	-31.3	-0.7
紙 ・ 紙 加 工 品	-28.0	-16.0	-16.0	-29.1	-20.8	-20.0	-17.4	-20.0	-25.0	-18.2	-12.5	-17.4	0.0	17.4
印 刷	-48.2	-43.8	-46.6	-44.1	-41.0	-45.6	-37.3	-41.4	-33.9	-45.6	-46.6	-39.0	-45.7	-6.7
化 学 ・ ゴ ム	-23.1	-25.0	-25.0	-35.7	-32.1	-14.3	-14.3	-11.1	-14.8	-22.2	-18.5	-25.9	-22.2	3.7
窯 業 ・ 土 石 製 品	-32.7	-36.6	-34.6	-31.4	-30.8	-26.4	-22.6	-26.9	-30.6	-36.9	-28.8	-25.2	-34.6	-9.4
鉄 鋼 ・ 金 属	-33.8	-34.1	-32.1	-34.4	-26.3	-30.5	-27.3	-27.2	-28.6	-27.6	-38.9	-29.0	-27.1	1.9
一 般 機 器	-34.9	-32.4	-27.9	-24.5	-26.2	-27.2	-30.8	-33.3	-27.9	-23.2	-34.3	-34.2	-25.0	9.2
電 気 機 器	-21.4	-3.5	-14.3	11.1	3.7	-3.8	-28.6	-17.8	-10.7	7.4	-3.5	-17.8	-3.6	14.2
輸 送 機 器	-17.8	-15.6	-29.6	-23.3	-20.5	-14.0	-18.6	-20.5	-9.5	-17.1	-20.5	-20.5	-25.0	-4.5
そ の 他 の 製 造 業	-40.0	-34.7	-38.3	-36.7	-26.6	-32.7	-28.6	-35.4	-33.3	-33.3	-32.0	-38.0	-37.3	0.7
非 製 造 業	-22.6	-20.5	-20.5	-20.7	-22.2	-18.9	-21.0	-24.1	-26.5	-21.8	-21.4	-21.4	-22.9	-1.5
卸 売 業	-23.3	-17.7	-19.3	-24.6	-23.3	-18.0	-14.3	-24.6	-23.3	-18.7	-25.1	-19.3	-25.2	-5.9
小 売 業	-32.5	-30.9	-28.6	-29.7	-35.8	-32.2	-33.8	-33.1	-36.4	-36.9	-25.2	-31.3	-33.6	-2.3
商 店 街	-21.2	-29.0	-26.6	-29.6	-28.2	-25.9	-22.1	-28.2	-35.6	-26.8	-28.0	-31.2	-29.4	1.8
サ ー ビ ス 業	-13.0	-8.5	-11.9	-5.8	-8.1	-7.5	-11.0	-11.2	-16.7	-5.1	-7.8	-3.7	-11.8	-8.1
建 設 業	-22.2	-22.6	-22.3	-18.9	-23.1	-21.5	-24.7	-22.5	-24.2	-21.8	-23.3	-27.2	-22.4	4.8
運 輸 業	-25.4	-13.3	-15.6	-22.5	-16.4	-9.5	-18.0	-32.3	-28.4	-27.2	-27.2	-18.1	-13.8	4.3
そ の 他 の 非 製 造 業	0.0	-6.5	0.0	6.7	9.7	22.5	-3.2	0.0	3.2	6.5	-3.3	-12.9	-6.7	6.2

Pick up!

「紙・紙加工品」：原材料費上昇により厳しい状況にあるが、価格転嫁が徐々に進行していることから、収益状況DI 0.0と、前月比17.4ポイント上昇した。

「卸売」：物価上昇に伴う消費低迷により取扱量が減少していることに加え、物流コスト上昇に価格転嫁が追いついていないことにより収益状況DIは▲25.2と、前月比5.9ポイント低下。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 14.7	▲ 13.8	0.9	上昇	↗
製造業	▲ 16.4	▲ 16.0	0.4	上昇	↗
非製造業	▲ 13.3	▲ 12.3	1.0	上昇	↗
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	25.6	26.1	0.5	上昇	↗
製造業	24.9	25.2	0.3	上昇	↗
非製造業	26.0	26.8	0.8	上昇	↗
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 7.8	▲ 7.1	0.7	上昇	↗
製造業	▲ 5.9	▲ 5.8	0.1	上昇	↗
非製造業	▲ 9.3	▲ 8.0	1.3	上昇	↗
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 17.0	▲ 17.8	▲ 0.8	悪化	↘
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 11.8	▲ 11.3	0.5	上昇	↗
製造業	▲ 13.6	▲ 12.4	1.2	上昇	↗
非製造業	▲ 10.4	▲ 10.5	▲ 0.1	悪化	↘
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 5.8	▲ 7.4	▲ 1.6	悪化	↘
製造業	▲ 5.9	▲ 7.5	▲ 1.6	悪化	↘
非製造業	▲ 5.8	▲ 7.3	▲ 1.5	悪化	↘

Calendar 2025

～～ 国内外の主なトピックス（令和7年7月）～～

7月8日（火）	5月の国際収支統計：財務省。経常収支は3兆4364億円の黒字となった。5月単月では比較可能な1985年からみて過去最高を更新。原油や石炭の価格が下がったため、輸入が前年同月比7.5%減少し、その結果貿易収支の赤字幅を縮小させ、経常収支を押し上げた。貿易収支は5223億円の赤字となったが前年同月比で5757億円改善し赤字幅は縮小した。
7月8日（火）	6月の景気ウォッチャー調査：内閣府。現状判断指数は前月比0.6ポイント上昇の45.0と2カ月連続上昇となった。家計動向関連DIはサービス関連等が低下したものの、飲食関連等が上昇したことから上昇となった。基調判断は、「景気はこのところ回復に弱さがみられる」と前月を据え置いた。
7月9日（水）	6月の工作機械受注額：日本工作機械工業会。前年同月比0.5%減の1331億円となり9カ月振りに減少した。前月比は3.4%増と3カ月振りに増加し、2カ月振りに1300億円を上回った。引き続き外需が主導する形で底堅い需要が続いた。
7月10日（木）	7月の地域経済報告（さくらレポート）：日本銀行。前回4月時点に引き続き、国内全9地域の景気判断を据え置いた。米国追加関税の影響で景気への不透明感から一部に弱めの動きが見られるものの、緩やかな回復や持ち直しの基調が続いているとした。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和7年6月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全 体	-27.3	-11.8	-26.1	26.1	-7.1	-13.8	-17.8	-11.3	-7.4
製 造 業	-33.9	-17.0	-30.2	25.2	-5.8	-16.0	-17.8	-12.4	-7.5
非 製 造 業	-22.3	-8.0	-22.9	26.8	-8.0	-12.3		-10.5	-7.3

(製 造 業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食 料 品	-27.8	-8.6	-32.3	44.5	-7.1	-15.2	-7.6	-10.7	-8.1
織 維 工 業	-38.2	-26.4	-33.7	17.3	-12.7	-20.9	-23.7	-18.2	-11.8
木 材 ・ 木 製 品	-47.3	-25.0	-31.3	7.2	-8.9	-21.4	-21.4	-8.9	-14.2
紙 ・ 紙 加 工 品	-16.7	4.2	0.0	37.5	12.5	-8.3	-16.7	-8.4	-12.5
印 刷	-45.8	-23.7	-45.7	20.3	-3.4	-16.9	-27.1	-23.7	-10.2
化 学 ・ ゴ ム	-22.2	3.7	-22.2	29.6	0.0	-11.1	-7.4	0.0	-7.4
窯業・土石製品	-43.4	-35.3	-34.6	48.5	-2.2	-15.5	-30.1	-15.4	1.5
鉄 鋼 ・ 金 属	-29.4	-9.3	-27.1	10.9	-7.0	-14.0	-14.7	-14.7	-8.5
一 般 機 器	-31.8	-24.1	-25.0	17.4	0.0	-12.5	-16.3	-7.6	0.0
電 気 機 器	-10.7	21.4	-3.6	3.6	-10.7	-25.0	-10.7	-7.2	3.6
輸 送 機 器	-22.7	-2.3	-25.0	11.4	-11.3	-9.1	-9.1	-13.7	-6.8
その他の製造業	-31.4	-21.6	-37.3	19.6	-3.9	-15.7	-21.6	-7.8	-17.6

(非製造業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸 売 業	-27.5	-9.3	-25.2	32.5	-6.4	-13.3		-7.4	-3.9
小 売 業	-31.1	-20.1	-33.6	22.3	-17.6	-16.4		-13.9	-11.0
商 店 街	-33.1	-12.9	-29.4	43.6	-16.6	-22.7		-6.1	-4.3
サ ー ビ ス 業	-9.6	11.9	-11.8	30.8	0.7	-5.8		-6.8	
建 設 業	-16.3	-13.3	-22.4	18.5	-12.0	-10.7		-12.0	
運 輸 業	-22.2	-6.1	-13.8	13.0	5.3	-6.1		-21.4	
その他の非製造業	0.0	6.7	-6.7	30.0	0.0	-3.3		6.7	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和 7年 6月 末現在)

(単位: %)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全 体	5.0	62.7	32.3	21.2	45.8	33.0	8.7	56.5	34.8	32.3	61.5	6.2	3.7	85.5	10.8	3.1	80.0	16.9	8.3	65.6	26.1	4.8	79.0	16.1	9.1	74.4	16.5
製 造 業	3.8	58.5	37.7	19.4	44.2	36.4	7.6	54.6	37.8	29.8	65.6	4.6	2.7	88.7	8.5	2.4	79.2	18.4	8.3	65.6	26.1	5.4	76.8	17.8	8.2	76.1	15.7
非 製 造 業	5.9	65.9	28.2	22.5	46.9	30.5	9.6	57.9	32.5	34.2	58.4	7.4	4.5	83.1	12.5	3.5	80.7	15.8	0.0	0.0	0.0	4.4	80.7	14.9	10.4	71.9	17.7

(製造業)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食 料 品	4.0	64.1	31.8	22.7	46.0	31.3	7.6	52.5	39.9	45.5	53.5	1.0	1.5	89.9	8.6	2.0	80.8	17.2	8.1	76.3	15.7	4.5	80.3	15.2	9.1	73.7	17.2
織 維 工 業	1.8	58.2	40.0	10.0	53.6	36.4	3.6	59.1	37.3	21.8	73.6	4.5	0.9	85.5	13.6	0.0	79.1	20.9	3.6	69.1	27.3	4.5	72.7	22.7	5.5	77.3	17.3
木 材 ・ 木 製 品	2.7	47.3	50.0	16.1	42.9	41.1	7.1	54.5	38.4	17.9	71.4	10.7	3.6	83.9	12.5	0.9	76.8	22.3	2.7	73.2	24.1	4.5	82.1	13.4	6.3	73.2	20.5
紙 ・ 紙 加 工 品	20.8	41.7	37.5	41.7	20.8	37.5	29.2	41.7	29.2	41.7	54.2	4.2	16.7	79.2	4.2	4.2	83.3	12.5	25.0	33.3	41.7	8.3	75.0	16.7	12.5	62.5	25.0
印 刷	3.4	47.5	49.2	15.3	45.8	39.0	5.1	44.1	50.8	25.4	69.5	5.1	8.5	79.7	11.9	1.7	79.7	18.6	11.9	49.2	39.0	3.4	69.5	27.1	3.4	83.1	13.6
化 学 ・ ゴ ム	3.7	70.4	25.9	22.2	59.3	18.5	7.4	63.0	29.6	33.3	63.0	3.7	0.0	100.0	0.0	3.7	81.5	14.8	14.8	63.0	22.2	11.1	77.8	11.1	7.4	77.8	14.8
窯 業 ・ 土 石 製 品	0.7	55.1	44.1	16.9	30.9	52.2	8.8	47.8	43.4	50.0	48.5	1.5	2.9	91.9	5.1	4.4	75.7	19.9	5.9	58.1	36.0	2.2	80.1	17.6	12.5	76.5	11.0
鉄 鋼 ・ 金 属	4.7	61.2	34.1	24.0	42.6	33.3	6.2	60.5	33.3	19.4	72.1	8.5	0.8	91.5	7.8	2.3	81.4	16.3	13.2	58.9	27.9	4.7	76.0	19.4	7.0	77.5	15.5
一 般 機 器	1.9	64.4	33.7	16.3	43.3	40.4	7.7	59.6	32.7	21.2	75.0	3.8	4.8	90.4	4.8	3.8	79.8	16.3	7.7	68.3	24.0	8.7	75.0	16.3	9.6	80.8	9.6
電 気 機 器	10.7	67.9	21.4	35.7	50.0	14.3	21.4	53.6	25.0	14.3	75.0	10.7	0.0	89.3	10.7	3.6	67.9	28.6	14.3	60.7	25.0	7.1	78.6	14.3	17.9	67.9	14.3
輸 送 機 器	6.8	63.6	29.5	29.5	38.6	31.8	6.8	61.4	31.8	18.2	75.0	6.8	2.3	84.1	13.6	2.3	86.4	11.4	13.6	63.6	22.7	13.6	59.1	27.3	9.1	75.0	15.9
そ の 他 の 製 造 業	5.9	56.9	37.3	9.8	58.8	31.4	3.9	54.9	41.2	19.6	80.4	0.0	0.0	96.1	3.9	3.9	76.5	19.6	3.9	70.6	25.5	5.9	80.4	13.7	2.0	78.4	19.6

(非製造業)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸 売 業	3.0	66.5	30.5	22.7	45.3	32.0	10.3	54.2	35.5	41.4	49.8	8.9	4.4	84.7	10.8	3.0	80.8	16.3				4.9	82.8	12.3	13.3	69.5	17.2
小 売 業	6.0	56.9	37.1	21.1	37.7	41.2	7.9	50.6	41.5	36.5	49.4	14.2	2.5	77.4	20.1	4.7	74.2	21.1				3.1	79.9	17.0	8.2	72.6	19.2
商 店 街	3.7	59.5	36.8	19.0	49.1	31.9	7.4	55.8	36.8	49.7	44.2	6.1	1.2	81.0	17.8	1.2	74.8	23.9				3.1	87.7	9.2	11.0	73.6	15.3
サ ー ビ ス 業	9.0	72.4	18.6	30.5	50.9	18.6	11.5	65.2	23.3	33.7	63.4	2.9	8.2	84.2	7.5	5.0	84.2	10.8				7.9	77.4	14.7			
建 設 業	5.6	72.5	21.9	16.3	54.1	29.6	6.4	64.8	28.8	24.5	69.5	6.0		85.0	12.0	1.3	86.7	12.0				3.9	80.3	15.9			
運 輸 業	5.3	67.2	27.5	23.7	46.6	29.8	16.0	54.2	29.8	17.6	77.9	4.6	7.6	90.1	2.3	4.6	84.7	10.7				1.5	75.6	22.9			
その他の非製造業	13.3	73.3	13.3	26.7	53.3	20.0	13.3	66.7	20.0	30.0	0.00	0.0	6.7	86.7	6.7	6.7	83.3	10.0				6.7	93.3	0.0			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

(令和 7年 6月 末現在)

〔全 国〕

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
業 種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	5.0	62.7	32.3	-27.3	21.2	45.8	33.0	-11.8	8.7	56.5	34.8	-26.1
製 造 業	3.8	58.5	37.7	-33.9	19.4	44.2	36.4	-17.0	7.6	54.6	37.8	-30.2
非製造業	5.9	65.9	28.2	-22.3	22.5	46.9	30.5	-8.0	9.6	57.9	32.5	-22.9

〔北海道・東北地方〕

北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県,
山形県, 福島県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
業 種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	6.0	62.5	31.4	-25.4	20.6	45.1	34.3	-13.7	9.8	55.6	34.6	-24.8
製 造 業	5.4	56.8	37.8	-32.4	14.4	43.2	42.3	-27.9	8.1	48.6	43.2	-35.1
非製造業	6.4	65.7	27.9	-21.5	24.0	46.1	29.9	-5.9	10.8	59.3	29.9	-19.1

〔関東・甲信越地方〕

茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県,
東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
業 種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	5.3	65.3	29.4	-24.1	21.6	47.7	30.8	-9.2	9.5	59.4	31.1	-21.6
製 造 業	4.9	60.4	34.7	-29.8	22.3	46.4	31.3	-9.0	9.4	57.0	33.6	-24.2
非製造業	5.6	68.8	25.6	-20.0	21.1	48.5	30.4	-9.3	9.6	61.1	29.3	-19.7

〔東海・北陸地方〕

静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県,
石川県, 福井県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
業 種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	4.6	58.2	37.2	-32.6	19.7	44.3	35.9	-16.2	8.9	52.4	38.7	-29.8
製 造 業	4.1	52.8	43.1	-39.0	16.9	44.6	38.5	-21.6	8.7	48.2	43.1	-34.4
非製造業	5.0	63.5	31.5	-26.5	22.5	44.0	33.5	-11.0	9.0	56.5	34.5	-25.5

〔近畿地方〕

滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県,
和歌山県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
業 種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	4.0	60.3	35.6	-31.6	21.9	44.5	33.6	-11.7	6.5	54.3	39.3	-32.8
製 造 業	2.6	57.8	39.7	-37.1	24.1	40.5	35.3	-11.2	6.0	54.3	39.7	-33.7
非製造業	5.3	62.6	32.1	-26.8	19.8	48.1	32.1	-12.3	6.9	54.2	38.9	-32.0

〔中国地方〕

鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
業 種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	4.1	63.5	32.4	-28.3	24.5	42.7	32.8	-8.3	11.2	55.6	33.2	-22.0
製 造 業	3.5	58.8	37.7	-34.2	21.9	43.0	35.1	-13.2	8.8	52.6	38.6	-29.8
非製造業	4.7	67.7	27.6	-22.9	26.8	42.5	30.7	-3.9	13.4	58.3	28.3	-14.9

〔四国地方〕

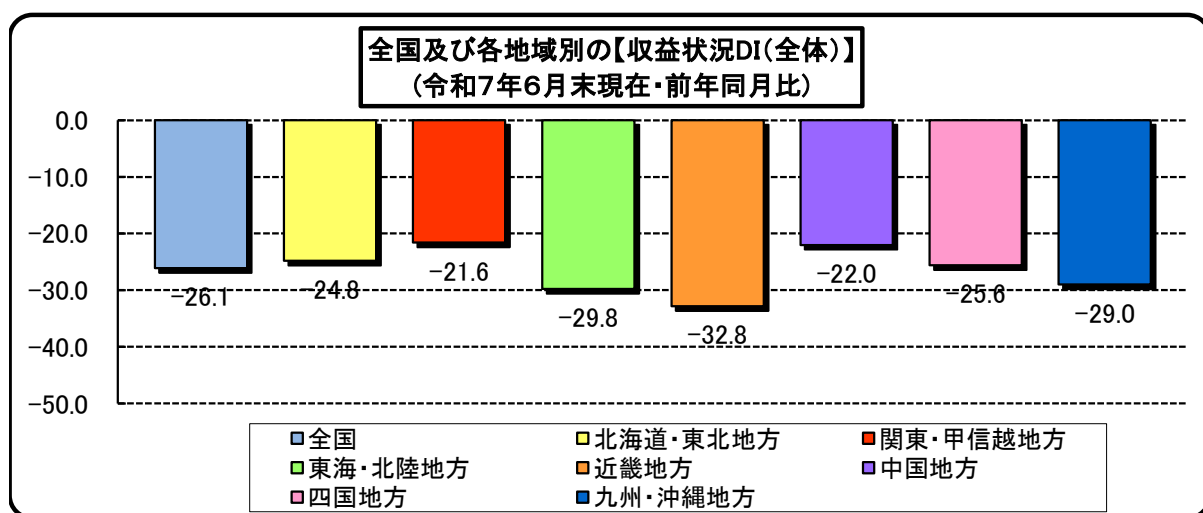
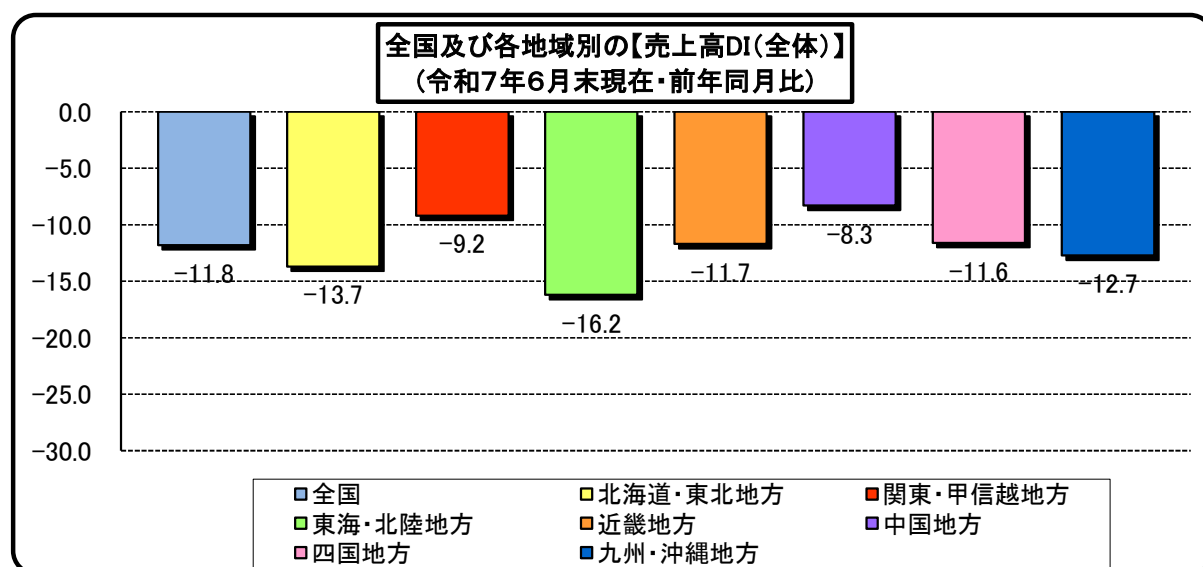
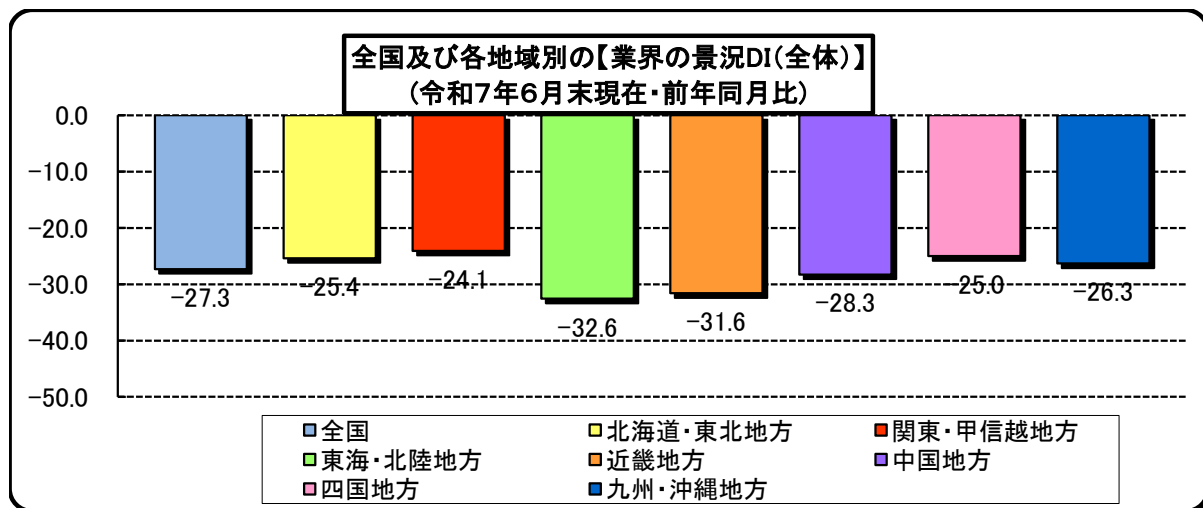
徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
業 種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	4.1	66.9	29.1	-25.0	19.2	50.0	30.8	-11.6	6.4	61.6	32.0	-25.6
製 造 業	3.9	68.8	27.3	-23.4	15.6	50.6	33.8	-18.2	5.2	66.2	28.6	-23.4
非製造業	4.2	65.3	30.5	-26.3	22.1	49.5	28.4	-6.3	7.4	57.9	34.7	-27.3

〔九州・沖縄地方〕

福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県,
宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

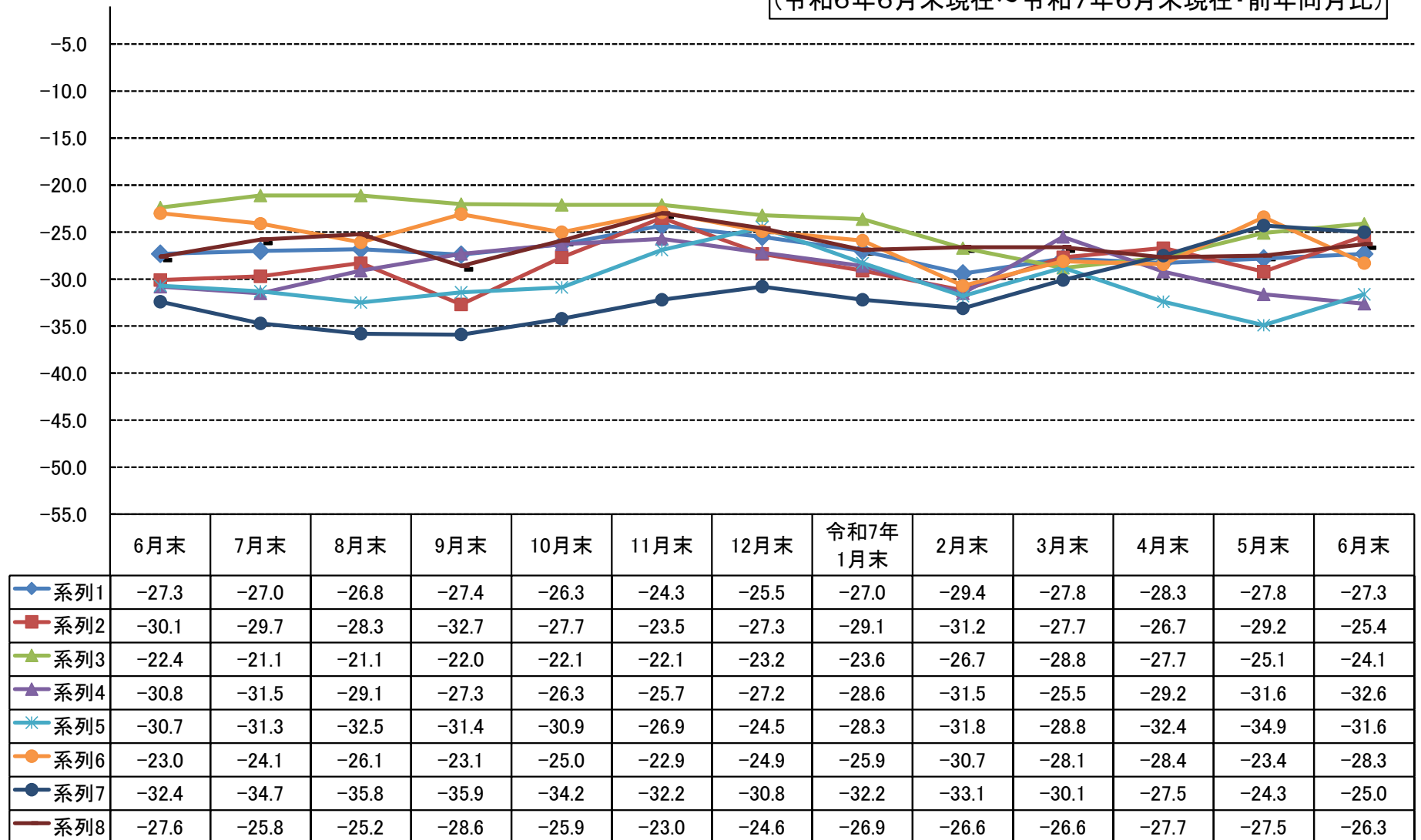
項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
業 種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全 体	5.7	62.3	32.0	-26.3	20.9	45.5	33.6	-12.7	7.3	56.4	36.3	-29.0
製 造 業	1.4	59.0	39.6	-38.2	17.4	41.0	41.7	-24.3	4.2	59.0	36.8	-32.6
非製造業	8.4	64.4	27.1	-18.7	23.1	48.4	28.4	-5.3	9.3	54.7	36.0	-26.7



[北海道・東北地方]
[関東・甲信越地方]
[東海・北陸地方]
[近畿地方]
[中国地方]
[四国地方]
[九州・沖縄地方]

北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県
静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県
滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県
鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(令和6年6月末現在～令和7年6月末現在・前年同月比)



〔北海道・東北地方(系列2)〕 北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
 〔関東・甲信越地方(系列3)〕 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県
 〔東海・北陸地方(系列4)〕 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県
 〔近畿地方(系列5)〕 滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県
 〔中国地方(系列6)〕 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
 〔四国地方(系列7)〕 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
 〔九州・沖縄地方(系列8)〕 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

※系列1は全国の数値です。

情報連絡員からの報告（要旨）

《製造業》

食料品

1. < 神奈川県 ひもの >
消費自体が厳しい状況であり、製造コストが変わらず高止まりしているため、取引先への値上げ対応も続いている。原材料の購入費用に影響が出始めて、今後が不安との声も出ている。
2. < 山梨県 パン・菓子 >
前年同月と比べ売上は125%となったが、原材料や包材・光熱費等の高止まりによって収益状況が改善しないため、9月までに製品単価の値上げを実施する。
3. < 富山県 醤油・味噌 >
味噌の主原料である加工原料米の需給逼迫や価格高騰は未曾有の状況であり、改善見通しも極めて不透明。令和7年産加工用米の価格や数量の確保について全組合員が不安視している。
4. < 和歌山県 食料品 >
先月に引き続き原材料高である。特に米については、将来的在庫不足に陥ることは明らかである。
5. < 佐賀県 菓子 >
原材料価格は高止まり、人件費や製造コストも上昇が続いているため、販売価格への転嫁も随時進められている。
6. < 長崎県 麺類 >
原材料費、燃料費高騰に伴う価格転嫁は進んでいるが、値上げに伴い、販売数量が減少傾向にある。米の価格高騰が起こっているが、麺類の需要が増えているわけではない。

繊維工業

7. < 秋田県 繊維 >
小ロット生産が依然として多く、生産性低下を補える加工賃を確保出来ず、採算性は悪化している。従来の生産ラインでは小ロット対応は難しく、新たな生産方式の導入が不可欠となっている。
8. < 三重県 テントシート >
熱中症対策義務化により遮熱シート・カーテン等の設置要望が増えている。当業界の現場作業は慣れが必要であり、作業員も高齢になってきているため、先々の現場作業には不安を感じている。
9. < 島根県 アパレル >
学生服などの特定分野を取り扱っている企業においても、今年度は5月から6月にかけての受注量が前年同時期と比べて約50%減少しているとの報告が寄せられている。
10. < 岡山県 アパレル >
熱中症対策義務化を受け、例年より早めに電動ファン付きウェアが本格化し、各社は対前年比同月実績比10%以上の増加と業績好調の企業が多い様子。
11. < 高知県 帆布製品 >
原材料高騰について、販売価格へのスムーズな転嫁が厳しい状況が続くと思われる。このような状況の中、7月より一部製品の値上げがあり厳しい状況である。
12. < 沖縄県 繊維 >
引き合いは多いものの商品の在庫が薄く、人手不足の為に生産が追い付かない状況である。生産力に上限がある中で生産計画を立てているため、急な需要に対応する事が難しい。

木材・木製品

13. < 岩手県 一般製材 >
県内新設住宅着工戸数は、前年同期と比較して約44%減の225戸と大幅に減少した。全国的にこの傾向（約34%減）にあり、4月1日に施行された改正建築基準法の影響もあると思料される。
14. < 岐阜県 銘木 >
海外からの来場者が目立つ。会社の規模と購入金額は比例していない。
15. < 三重県 木材チップ >
原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題となっている。また、従業員の確保が困難である。
16. < 富山県 一般製材 >
改正建築基準法施行による建築確認事務の遅れが影響し、新設住宅着工戸数は、2カ月連続で前年同月の半分以上となり、大幅に減少している。

17. < 石 川 県 製材・木製品 >
6月売上は前年比14%増加したがプレカット工場全体での稼働率は低下、住宅メーカーの仕事も減少傾向にあり、今後の見通しが立たない状況。建築基準法改正が影響していると思われる。
18. < 島 根 県 製材 >
物価高の中、住宅着工が減少傾向にあるうえ、木材製品の価格据え置きなど、木材業界にしわ寄せがきている状況にある。

紙・紙加工品

19. < 北 海 道 加工紙 >
大手製紙メーカーが8月1日からコート白ボール紙を15%値上げすると発表した。他の大手メーカーの動きに注目しなければならない。また、段ボール用原紙の動きにも警戒が必要である。
20. < 茨 城 県 段ボール >
大手メーカーが10月からの値上げを発表し、その他各社原材料メーカーも値上げを発表しており、収益確保が厳しい状況となっている。
21. < 岐 阜 県 紙加工品 >
他県からの同業の競り込みが散見されるなか、原紙値上げの発表もあり、その動きも止まる期待感がある一方で、業界全体で価格転嫁できるかがこれからの課題となる。
22. < 福 井 県 和紙工業 >
展示イベントの継続開催や体験型観光の定着により観光客数が増加傾向。人手不足や繁忙期対応の課題は残るが、価格転嫁の進行もあり、全体としてはやや持ち直しの傾向にある。
23. < 京 都 府 紙製容器 >
取引先への値上げがほぼ完了した最中、再び大手製紙メーカーが値上げを発表しており、段ボール箱需要縮小が懸念される。
24. < 高 知 県 手すき和紙 >
今年は前年と比較してやや減少の状況だった。厳しい状況が続いている。原材料ほか高騰が続き、動きが鈍くなっている。

印刷

25. < 福 島 県 印刷・同関連 >
原材料仕入れ価格の高騰で、人件費の賃上げ分の価格転嫁が難航しており、収益悪化が改善されない状況が続いている。
26. < 栃 木 県 印刷 >
経費増に応じた価格転嫁、値上げが浸透してきているが人件費や間接経費の上昇分もあり経費増に追い付いていない。関連需要の取り込みなどで売上及び付加価値増に取り組んでいる。
27. < 群 馬 県 印刷 >
従業員の生活を考えても賃上げが課題と認識しているが5%の賃上げは困難。設備投資の資金を賃上げ資金に割り当てることも検討している状況。
28. < 滋 賀 県 印刷 >
6月は祝日もないため稼働日数も多く売上は増加した。但し、今後もさらなる資材の値上げが示唆されており、先行きの不透明感は強い。
29. < 長 崎 県 印刷 >
売上高・販売価格は、やや増加傾向が見られるようになった。材料費・光熱費等の価格転嫁がなされてきたと思われるが、微増であり、収益状況の好転には繋がっていない。
30. < 沖 縄 県 印刷・同関連 >
印刷使用する原材料の更なる値上げがある為、収益に影響が出てくるのが懸念される。

化学・ゴム

31. < 神 奈 川 県 石油製品 >
関税等の情勢の影響次第ではあるものの、年末にかけて半導体需給の回復が期待できる。
32. < 奈 良 県 プラスチック製品 >
材料費やエネルギーコストの増加による利益率の低下を引き起こしており厳しい状況が続いている。米国関税影響が不明確ななか、輸出関連や自動車関連では出荷抑制が見られる。
33. < 大 阪 府 セロイドプラスチック製品 >
円安による原料や燃料の高騰及び人件費増加を販売価格へ転嫁する動きは遅れている。一方で石油価格の下降により原料のプラスチック価格は安くなっている。

34. <兵 庫 県 ゴム製品 >
市場が全く盛り上がらない。コメ不足等をはじめとした消費者マインドの冷え込みが想像以上に厳しい。天候不順も売上げには大きく影響してくる。引き続き明るい材料が見当たらない。
35. <島 根 県 プラスチック製品 >
製品受注状況は昨年比110%程度となっており、堅調に回復基調となっている。先の見通しについても、各社悲観的な見通しは無いが、予測としては不透明な状況という共通認識となっている。
36. <広 島 県 プラスチック製品 >
受注低迷が続いており今後の見通しも悪く、大幅な上振れは期待できないため、稼働日数・時間の調整なども必要である。

窯業・土石製品

37. <埼 玉 県 窯業・土石製品 >
6月度出荷は、新規工事案件の契約は依然として少なく、降雨の影響も加わり対前年同月比89.2%となった。人件費に加え諸資材の高騰により工事が延期となった案件も見受けられる。
38. <千 葉 県 生コン >
新規工事物件が少しつつ動いているが、働き方改革などにより工期遅れが出ている。原材料費及び人件費の高騰が経営を圧迫、生コン価格への転嫁が必要である。
39. <東 京 都 砕石 >
建設業界における「働き方改革」への取組みにより、工事が遅れて需要が低迷。また、物価上昇による、価格転嫁が出来ていない。
40. <愛 知 県 生コンクリート >
大口案件が少ないうえに進行状況は遅れ気味。値上げ交渉は進みつつあり販売価格は上昇しているものの、原材料費高騰分を転嫁するまでには至っておらず、収益状況は依然として厳しい。
41. <山 口 県 コンクリート製品 >
原材料価格の高騰、賃金アップ、人材確保などの理由により、4月から15%程度の値上げ活動を実施している。
42. <熊 本 県 コンクリート製品 >
T S M C関連事業（工場造成工事等）は停滞気味。第2工場の工事開始を待ち望んでいる状況。

鉄鋼・金属

43. <岩 手 県 金属製品 >
工場稼働率、手持ち工事量は横ばいであり、見積依頼数は依然として低調。工場加工費は微減傾向であり、適正な利益を確保出来る状況ではない。
44. <新 潟 県 鉄骨 >
副資材価格や消耗品費の上昇分が加工費を圧迫し、収益状況は厳しい状況が続いている。建設費の高騰で、全国的に計画中止・延期の物件が増えている。見積件数及び引合い物件が少ない。
45. <愛 知 県 金型 >
自動車の新規開発案件が極めて少ない。今年は金型業界にとっては大変厳しい年である。受注減は自動車関連の開発の谷間によるものであるが、これほどまでに厳しい年は過去に類を見ない。
46. <和 歌 山 県 金属製品 >
米国関税実施前の駆け込み需要なのか前年同月比で約7%増加した。しかしながら予断を許さない状況が続いている。
47. <徳 島 県 ステンレス >
受注残高としては増加となっているが、米国の通商政策等による日米間交渉の難航から、今後の輸出関連製品においては不透明感が払拭出来ない状況である。
48. <鹿 児 島 県 金属製品 >
工場稼働率が著しく低下しており、業界は停滞している。秋以降も未確定な物件が多く、小さな工事でもいいので、直近の製作物件の受注が欲しい。

一般機器

49. <栃 木 県 一般機械器具 >
今年度2～4.5%程度の賃上げを実施した組合員が多かったものの、今後の物価上昇に追随した賃上げなどについては不安視している組合員が多い。
50. <群 馬 県 はん用機械器具 >
燃料費が僅かに下がっても、光熱費・材料費等の物価が高騰しており経営は厳しい。そのような状況もあり、賃上げも困難。

51. < 岐 阜 県 金 型 >

年末に動く少ない新規開発車種のコンペティションが始まり、価格転嫁どころかまた値下げ合戦が始まった。

52. < 富 山 県 非金属用金型 >

金型全体としての需要は底堅いものがあったが、現況、様々な分野において総崩れの様相を呈しており需要の落ち込みが止まらない。ここまでの低迷は経験したことがなく危機的な状況である。

53. < 福 井 県 機 械 >

一部では底堅い動きも見られるが情勢の不透明さや人手不足の長期化により受注や生産活動は伸び悩んでいる。全体的に停滞感が続き、先行きの警戒感から様子見の姿勢が広がっている。

54. < 愛 媛 県 鉄 工 >

組合員企業全体の印象として、概ね先月同様ではあるが、造船・運搬機関係部品の発注は悪くはない。それ以外のところは、今年に入って以降、見積はあるが落札が難しくなっている。

電気機器

55. < 埼 玉 県 電 気 機 器 >

業界動向はさほど変わらないものの、新規の動きが少し出てきており、少ないチャンスを実際にものにしていきたいが、その際の人員手当てが重要な課題となってくる。

56. < 長 野 県 電 子 機 械 器 具 >

売上は少し回復してきているが、人手不足が継続中。職場環境改善が引き続き急務である。自動車部品関連企業は、かなり生産調整を受けており先行きが不透明。

57. < 愛 知 県 配 電 盤 >

価格転嫁が比較的順調に出来ており、原材料価格の上昇にもかかわらず、利益が上がってきている。しかしながら物流コストが昨年度比1.5倍程度に増加し、利益を打ち消してしまっている。

58. < 富 山 県 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路 >

民生機械や産業機械に若干回復の兆しが見られ、コロナ禍前の80%程まで戻ってきている。顧客各社の新規投資が活発化してきている。米国関税影響は今のところそれほど出ていない。

59. < 京 都 府 電 機 機 械 器 具 >

売上高は増加しているが利益確保は厳しい状況にある。背景には価格転嫁が進展し売上は増加しているが、原材料・人件費等の高騰が原価を大幅に上昇させ、利益を圧迫している実態がある。

60. < 兵 庫 県 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路 >

米国向けは先月までの関税引き上げに伴う駆け込み需要の影響により前年同月比5.8%減となった。米国相互関税により自動車メーカーは、値上げの動きがあり、販売への影響が懸念される。

輸送機器

61. < 群 馬 県 輸 送 用 機 械 器 具 >

米国関税の影響で客先からの発注内示が段々と低下。将来の売上高の減少を心配している。

62. < 静 岡 県 輸 送 用 機 械 器 具 >

関税問題の影響を受け、一部中国からの輸出にブレーキがかかっている。根本的な解決には至っておらず、今後も生産に影響が出る可能性がある。

63. < 静 岡 県 輸 送 用 機 械 器 具 >

国内自動車関連企業に米国関税による影響が出始めてきている。と言う声も聞かれるようになってきた。

64. < 愛 知 県 輸 送 機 器 >

業況はよくない。米国政権の関税政策影響を受け、自動車・生産用機械の先行きが懸念される。前月同様原材料・人件費の上昇といったコストへの価格転嫁が進んでいないのが現況である。

65. < 三 重 県 輸 送 機 器 >

受注は一般機械器具で増加し、採算面は回復傾向である。米国関税政策の直接的な影響ではないが、自動車部品の物量は減少傾向が続く。関税政策影響も依然先行き予測が難しい。

66. < 大 分 県 造 船 >

工事金上昇よりも、人員確保、増員による賃金アップによる負担が大きく経営は苦しい。

その他の製造業

67. < 北 海 道 家 具 >

引き続き物価高騰による固定費増加、原材料高騰を補完できるほどの売上増加が見込めない厳しい状況が続いている。世界的な情勢の影響もあるなか、今後も抜本的な景気対策を望む。

68. < 福 島 県 漆器 >
来店客、インバウンドの動きは弱い。ネット通販は堅調。県のドライブキャンペーンはインバウンドの利用もあった。
69. < 神 奈 川 県 工業中心複合 >
相変わらず低い位置で安定している感じである。各企業の受注増減の波は変わらない。今後の見通しも不透明な為か、廃業や事業縮小を考え始めている企業も出てきている。
70. < 神 奈 川 県 工業中心複合 >
業界・個別企業により売上高・収益の格差が顕著であり二極化する傾向が見受けられる。県内大手自動車メーカー製造工場の閉鎖の時期など明確ではないが、影響が大きく懸念される。
71. < 愛 知 県 工業用模型 >
自動車関係は全体的に特に厳しい模様。工作機関係は様々ではあるが、やはり今後は先行き不透明感があり、不安定な状態である。
72. < 福 井 県 眼鏡 >
業況に大きな変化はなく、引き続き海外向けOEMを中心に堅調。米国向けのシェアは高いものの、受注状況に変化はなく、産地では今後の動向について注視している状況。

《非製造業》

卸売業

73. < 宮 城 県 再生資源 >
6月の鉄スクラップ市況は、鉄鋼メーカーで値下げが散発した。国内鉄鋼需要が建設分野を始め停滞しており、価格はこのままの状態と安定していくと思われる。
74. < 東 京 都 電線 >
施工現場は人手不足が続いている。また、半導体工場をはじめとした川上からの工期の遅れや納期の変更が続いている。
75. < 大 阪 府 衣服・身の回品 >
様々な経費が高騰しているの、値上り要請は可能な状況であるが、市況を考慮すると想定していた値上げを行うことができず、収支改善に限界を感じる。
76. < 鳥 取 県 各種商品 >
食料品・消耗品等の値上げに加えて、燃料費上昇による原価への影響が懸念される。仕入配送に関わるコスト増の影響、また配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。
77. < 広 島 県 各種商品 >
物価高により個人消費が停滞している中で、季節や天候の影響を受ける商品の価格変動が大きく、在庫調整も大きな負担となっている。
78. < 高 知 県 各種商品 >
全体的なコスト増に対し、販売価格を上げるだけの対策ではカバー出来ない。仕入価格、ガソリン代等値上げが続くものの、販売価に十分転嫁出来にくい状況が続いている。

小売業

79. < 福 島 県 家電 >
猛暑の影響がかなり大きく、9割はエアコン関係の受注だった。また、昨年よりも商品の単価が上がった分、売上総額も上昇した。
80. < 広 島 県 各種商品 >
施設売上は前年比111%、客数は前年比107%と増加した。主に食料品店、次にサービス系の順番で売上が伸び続けているが、仕入価格や人件費などの上昇が収益性を悪化させている。
81. < 徳 島 県 ショッピングセンター >
組合店舗で昨年比を上回ったのは2店舗のみで、他の店は上回りはしないものの横ばいを維持している。物価上昇の影響も多少なりとも受けていると思われる。
82. < 大 分 県 カード会 >
異常なまでの暑さで高齢者が家から出てこない。今年の米は水不足と猛暑で不作が予想されるし、野菜の高騰も免れない状況で、世の中はどうなっていくのか不安だらけである。
83. < 宮 崎 県 機械器具 >
米国関税問題で5月から仕入れに慎重になる販売店が増え、組合で開催しているオークションも成約率は芳しくない。組合員店舗での販売も振るわず、自動車業界において氷河期と言える。
84. < 鹿 児 島 県 鮮魚 >
梅雨に入り入荷が少ない。降雨や猛暑が続く、小売店の客足は遠のいている。天候の良かった「父の日」も客足が少なく、売上が落ち込んでいる。

商店街

85. < 青 森 県 商店街 >
6月に入り例年にないほど暑い日が続いており、商店街も最低限の買い物客で活気がなかった。売上の内訳も常連客が多く平年並みであった。一方で、飲食関係で好調の組合員もいた。
86. < 宮 城 県 商店街 >
設備の老朽化が課題となっている。IT等の活用により業務改善を進めたい。
87. < 長 野 県 商店街 >
アパレル関連の夏物に対する反応は6月からの暑さにより例年に比べ早い。飲食の仕入れ価格は落ち着いてきたが、相変わらず上昇傾向にあり、価格への影響が出ている。
88. < 長 崎 県 商店街 >
6月はインバウンドの大型船寄港が相次ぎ、商店街は賑わいを見せた。飲食店、土産物店、果実店などを中心に売上の上がった店も多い。例年にない早い時期の梅雨明けで7月も期待したい。
89. < 熊 本 県 商店街 >
プレミアム商品券の販売により消費マインドの上昇が少なからずあったかと思うが、物価高及び猛暑で外出を控える高齢者が増加していることが影響し、大きく売上を向上させるには至らない。
90. < 宮 崎 県 商店街 >
余りに気温が高いため、街に人が出なくなり、人通りがほとんど見られない状況である。そのため、大型店に人が流れてしまっている。

サービス業

91. < 青 森 県 警 備 >
人員不足により、各種イベントで警備への対応に苦慮。業界全体としては、大きな変化は認められず。
92. < 山 形 県 美 容 >
美容業では材料費等の高騰により売り上げは増加、又は不変でも収益効果は減速している。価格転嫁が容易でないため減収の一因となっている。
93. < 神 奈 川 県 自動車整備 >
団体交渉締結の恩恵を受け、業界全体の工賃単価が上昇しているように感じる。
94. < 山 梨 県 宿 泊 >
梅雨が短く、雨天による影響が小さかったため安定した需要があり、売上も増加した。夏休みに向け人材確保（特にインバウンド客の増加に伴う外国人対応スタッフの増強）が課題となっている。
95. < 岐 阜 県 自動車車体整備 >
団体交渉の結果、損保側から来月7月からの工賃単価の説明が行われるが、現実的には現在の単価よりも低い単価が提案される。このような課題があり、賃金アップに苦慮している状況である。
96. < 香 川 県 ディスプレイ >
大型物件の受注により売上は増加している。価格上昇に対し、製品価格への転嫁を図らなければやっていけない状態は続いている。人材不足が深刻であり雇用が困難である状況は続いている。

建設業

97. < 北 海 道 土木工事 >
官工事の発注により忙しい状況にはあるが、資材高騰や人手不足のため収益の好転には至っていない。全体に人員不足や新規雇用が進まない等の問題を抱えており厳しい。
98. < 福 島 県 専門工事 >
建設業界では民間工事が停滞してきた。ダンピング受注や発注者の価格要請により業界が疲弊している。
99. < 新 潟 県 左官工事 >
新潟市内では現場が少ないため、移動費や人件費を含めた経費が増加傾向にある。価格転嫁に対する理解が十分でない元請企業も多く、現在も継続的な価格交渉を余儀なくされている。
100. < 山 梨 県 鉄骨・鉄筋工事 >
公共物件が不調で、前年同月比売上・景況感ともに▲10%となった。業界全体で仕事量が減少傾向にあるため、少ないパイの奪い合いによる値崩れが発生している。
101. < 福 岡 県 職別工事 >
大型物件の中止や延期が相次ぎ、仕事量が確保できず、工場の稼働率が低下している。

102. < 長 崎 県 建設 >
建設資材やエネルギー価格等の高止まり、担い手確保のための人件費などコストが上昇しているなかで、米国関税によって更に建設資材等の価格高騰も考えられ、利益を確保に苦悩している。

運輸業

103. < 青 森 県 貨物軽自動車運送 >
6月の業況は昨年より若干良くなっているが、物価上昇により全体的に荷動きは足踏み状態。組合員の高齢化に伴う事業承継も順調に進んでいる。
104. < 茨 城 県 一般貨物自動車 >
輸送運賃については、昨年比べ値上げしていただいたが、十分な水準とは言えず、人件費上昇や経費上昇などにより、依然として収益は厳しい状況にある。
105. < 埼 玉 県 運輸 >
暑さ対応策で空調服を導入する企業が増加しており、若干のコスト増に繋がっている。従業員の負担軽減の一助になればと考えている傾向が見られる。
106. < 岐 阜 県 貨物運送 >
荷物の動きは変わらず悪い。国の燃料補助は有難いが、原油価格高騰・円安により燃料は高いままになっている。乗務員の賃金確保も併せて、運送会社の経営状況は厳しさを増している。
107. < 島 根 県 道路貨物運送 >
荷動きは引き続き非常に悪い状況。傘下組合員の配車担当者はこれまでに経験したことない程の荷動きだとし、米国関税が国内物流に与える影響など、先が見通せない状況を不安視している。
108. < 福 岡 県 道路貨物運送 >
トラックドライバー不足は深刻さを増しているが、事業者はドライバー確保のため、賃上げや福利厚生の実施など、従業員定着を図る動きが増えてきている。

その他の非製造業

109. < 宮 城 県 不動産 >
金利上昇により不動産オーナーの金利負担が増加している。事業計画が甘いオーナーが苦慮する傾向が見え始めてきた。賃料値上げや見直しを借主へ打診するオーナーも見受けられる。
110. < 神 奈 川 県 不動産 >
不動産全般の価格が上昇、販売も年明けより好調な状況が続いている。但し、在庫確保に業者が取り合いで価格を釣り上げている感がある。
111. < 長 野 県 砂利採取 >
出荷量が悪かった前期よりも、さらに今期は現時点で落ち込んでいる。県全体でも、松本地域の落ち込みが目立つ。
112. < 兵 庫 県 物品質貸 >
大きな業況の変化はなし。各社雇用人員は増加傾向にあるが大きな売上増には至らず。相変わらず資材の高騰に対して販売価格への転嫁が難しい状況。
113. < 広 島 県 不動産 >
不動産市場については、住宅建築に関して建築基準法の改定により審査基準が厳しくなったことによる、建築申請書類の厳格化により、書類申請の遅延が発生している。
114. < 福 岡 県 貸金・クレジットカード >
本業の質預かりは相変わらず低調であるが、貴金属相場の高騰で金・白金製品の買い取りが伸びている。